

取扱説明書



突っ張り耐震ポール

注文コード: 41503727/41503736
41503745/41503754

このたびは、突っ張り耐震ポールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

組立時・ご使用上の注意

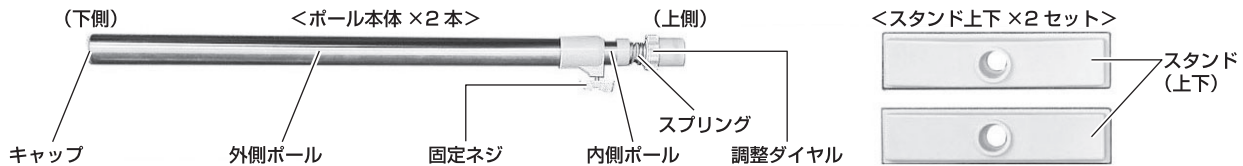
【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

注意

● 商品の組立は、記載している手順、方法通りに行ってください。誤った手順、方法で行うと、けがや破損のおそれがあります。● 小さなお子様に組立・設置・収納などをさせず、使用にあたっては必ず大人の方が常に管理できる状況でしてください。● 本製品を本来の使用用途以外や、乱暴な取り扱い方をすると、けがや故障、破損につながるおそれがありますので絶対にしないでください。● 本製品は屋内でご使用ください。また、火気や熱源の近くでの使用は避けてください。本体が変形するおそれがあります。● 本製品は家具を完全に固定するものではなく、あくまで簡易転倒防止器具です。設置状態や震度などにより効果が薄れる場合があります。● 取り付けた2、3日後、および地震後や定期的(月に1回程度)に設置状態を点検し、弱いときは調整を行ってください。● 本製品はプラスチック製のため、大きい地震後や長期使用で劣化の際は、新品と交換することをおすすめします。● 清掃するときは、濡らせた布で拭いてください。汚れが取れにくい場合は中性洗剤で拭いてから、濡らせた布で拭き取ってください。

2 各部の名称

取り付けの前に部品が全て揃っていることを必ずご確認ください。



■ 仕様 ※1 下記の仕様は、予告なしに変更することがあります。 ※2 耐荷重は壁の材質や取り付け状態により減少することがあります。

注文コード	寸法:幅W×奥行D×高さH (mm)	本体重量(kg)	材質	使用範囲(mm)	最大耐圧強度
41503727	245×58~×200~300	約1.3	樹脂部:ABS パイプ部:ステンレス巻きスチール (SUS443/SECC+Q915)	200~300	200kg(2本使用時)
41503736	245×58~×300~450	約1.45		300~450	
41503745	245×58~×450~650	約1.74		450~650	
41503754	245×58~×650~1100	約2.1		650~1100	

3 取り付け方法

取り付ける前に、取り付ける壁面がしっかりしているか確認してください。

組立手順

1 スタンド(上下)をポール本体に取り付ける

- スタンド(上下)はポール本体の上側、下側どちらでも取り付けることができます。

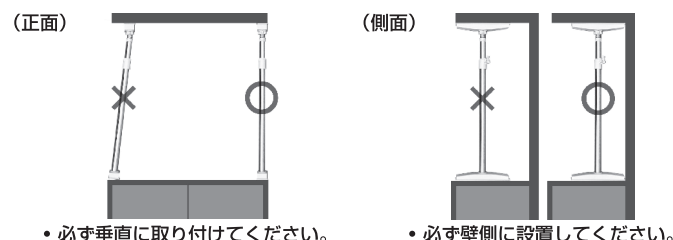
2 調整ダイヤル(上側)を縮める

- 最初から調整ダイヤルが伸びている場合は、ダイヤルを反時計回りに回してスプリングと同じ長さになるまで縮めてください。

取り付ける前に

- 完全なつり天井の場合は、効果が発揮できない場合があります。
- 強度が弱い天井、家具に取り付ける場合は、30cm程度の当て板を挟んで設置することをおすすめします。
- キャスター付の家具に使用されるときは必ずキャスターを固定してください。
- 幅の狭い家具で使用するときも、必ず左右に2本取り付けてください。
- 天井、家具、床など設置する場所により解圧強度は異なります。

▼ 取付位置



取り付け方法

1 取り付け位置を決める

- 天井の桟や芯材の部分に取り付け、弱い天井の場合は、当て板などで補強してください。
- 家具に取り付ける位置は、縁、四隅、天板などの強度がある部分に取り付けてください。

2 天井に当たるまで高さを調整する

- 本製品を取付位置に置いた状態で、上部スタンドが天井に当たる位置まで内側ポールを引き伸ばしてください。

3 内側ポールを天井いっぱい押し付け固定する

- 天井に押し付けながら固定ネジを時計回りに回します。
- 固定ネジは回しきりまで回してください。
- 内側ポールに穴が空き、固定されます。

4 調整ダイヤルを回し確実に固定する

- 上部スタンドを押さえながら、調整ダイヤルをスプリングが縮む方向に回します。
- 調整ダイヤルが「組立手順 2」の状態であることを確認してください。
- ダイヤル下のスプリングが回しきりまで縮み、動かなくなるまで回します。

注意

- 取り付けたら左右にゆすり、外れたりずれたりしないか確認してください。動く場合は、「取り付け方法 手順2」からやり直し、調整ダイヤルと固定ネジをゆるめてください。
- 再度固定するときは、必ず内側パイプを回して固定位置を変えてください。同じ位置で固定すると、内側ボールの固定穴が拡大してガタツキの原因になったり、確実に固定できなくなったりする場合があります。

5 正しく、確実に固定されたことを確認する